

# 2012年中国社会経済発展目標

岡山県上海事務所 池田 稔

(日中経済貿易センター上海事務所 所長)

## 政府活動報告

去る3月5日、第11期全国人民代表大会（全人代）第5回会議が開幕し、温家宝総理が政府活動報告を行いました。その中で2011年を振り返るとともに、政府の2012年の経済・社会発展目標が発表されました。

温総理は「今年は第12次五カ年計画を引き続き推し進める重要な1年であるとともに、今期指導部の任期最終年でもある。われわれは謹んで職責を尽くし、鋭意進取し、難関を突破し、断じて怠らず、人民の満足する成果を示さねばならない」と指摘し、2012年の経済・社会発展の主要目標として、「国内総生産（GDP）成長率7.5%」、「都市部に900万人以上の新規雇用を創出し、都市部の登録失業率を4.6%以内に抑制」、「消費物価指数の上げ幅を4%前後に抑制」、「輸出入総額を10%前後増やし、国際収支状況を引き続き改善」などを挙げたうえで「産業構造調整、独自開発、省エネ・排出削減の面で新たな進展を遂げ、都市部と農村部の住民所得の実際の伸びと経済成長の調和を維持しなければならない」と強調しました。

### 【主な経済発展指数】

指 標	2011年実績	2012年目標
GDP	前年比9.2%増	前年比7.5%増
CPI	前年比5.4%増	4%増（前年上昇幅より低く抑える）
貿 易	輸出入総額： 36,421億ドル（前年比22.5%増） 輸出：前年比20.3%増 輸入：前年比24.9%増 貿易黒字：前年比264億ドル減	輸出入総額約10%増
住 宅	都市保障性プロジェクト住宅432万戸完成、新着工1043万戸	都市保障性プロジェクト住宅500万戸完成、新着工700万戸以上
就 職	都市新規就職人数1221万人（目標を321万人上回る）	都市新規就職人数900万人以上 都市登録失業率を4.6%以下に抑える
排出削減	GDP単位あたりエネルギー消費 -2.01%	GDP単位あたりエネルギー消費 -3.5%

## ポイント～上海事務所の視点～

中国の GDP 成長率は 2007 年の 14.2%増の後、経済危機の起きた 2008 年には 9.6%増に減速、その後、2009 年 9.2%増、2010 年 10.4%増、昨年 2011 年は 9.2%でした。そして今年 2012 年の政府の目標は 7.5%増とかなり減速の数字となりました。

また、貿易についても 2011 年は 22.5%増と大きな伸びを示していましたが、今年 2012 年の目標は 10%増とかなり抑え目です。その他の目標を見てもかなり抑え気味の数字がなりました。

基礎の大きな中国ですから抑え気味の数字とは言え、波及効果はそれなりに大きいものですが、全体的には青信号から黄色信号に変わりつつあるように思われます。多くの分野が伸びる経済から、伸びる分野に限られる経済になりつつあるでしょう。表の通り、省エネへの積極的な取り組みが掲げられています。省エネ、環境は今後引き続き中国が取り組む分野であり、日本企業の得意分野といえるでしょう。

現在、中国事業を行っている企業は引き続き成長率の高い間にしっかりと中国事業の基礎を固め、減速に備えなければならないでしょう。これから中国事業に取り組む企業は、しっかりと成長分野を見極め、良い商品、技術、サービスを軸に、投資の場所を見極め、集中する必要があるでしょう。

(2012 年 3 月)